



日比谷総合設備株式会社

(証券コード：1982)

2024年3月期第2四半期 決算説明会

2023年11月20日

決算概要（連結）

- 受注高は、民間の大型データセンターや大規模再開発プロジェクトの受注などにより、順調に推移
 - 売上高は、前期からの繰越案件、当期の受注案件ともに順調に推移し、前年同期比で増収
 - 当期は、大型の好採算案件が少なかったが、営業利益・経常利益・四半期純利益ともに増益を確保
- ▶ 業績はほぼ期初の想定どおり推移していることから、通期業績予想(5/11発表)は変更しない

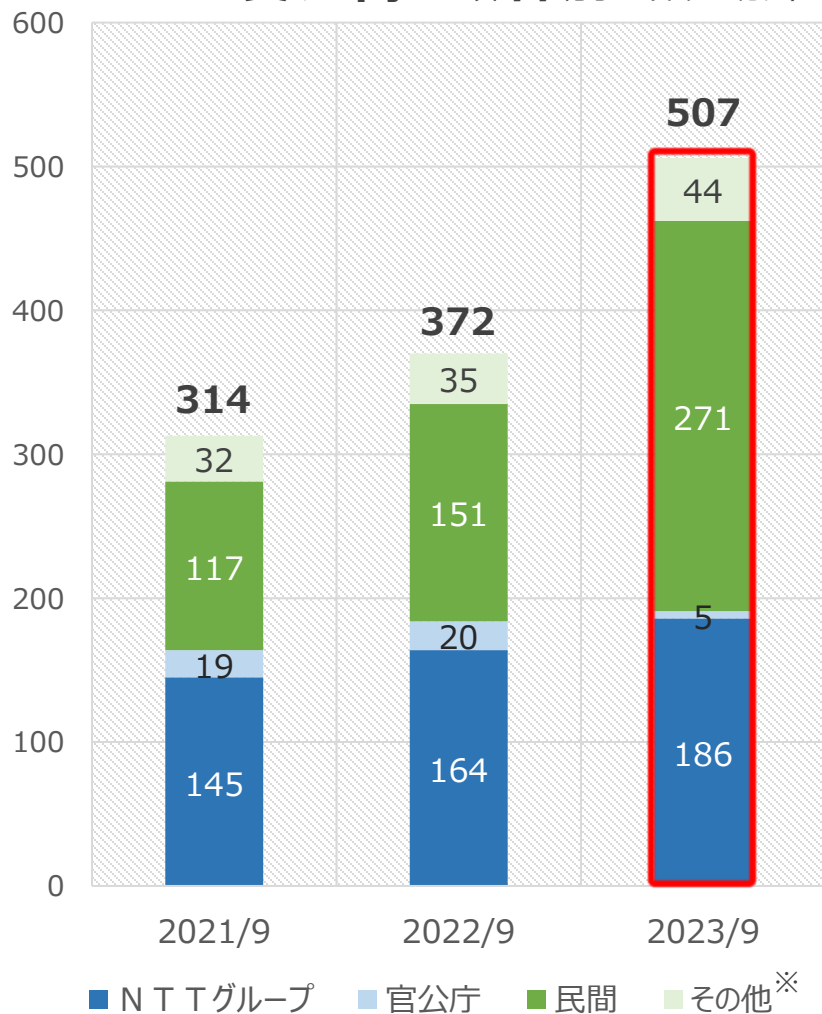
(単位：億円)

	2021/9	2022/9	2023/9	前年同期比	前年同期比 (%)	2022/3 実績 (通期)	2023/3 実績 (通期)	2024/3 業績予想 (通期) 2023.5.11 発表
受注高	314	372	507	+134	36.2%	789	873	865
売上高	332	286	330	+43	15.4%	754	839	850
営業利益	33	7	9	+2	29.6%	56	59	50
経常利益	36	11	14	+2	24.4%	61	66	55
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	27	7	9	+2	26.7%	43	46	38

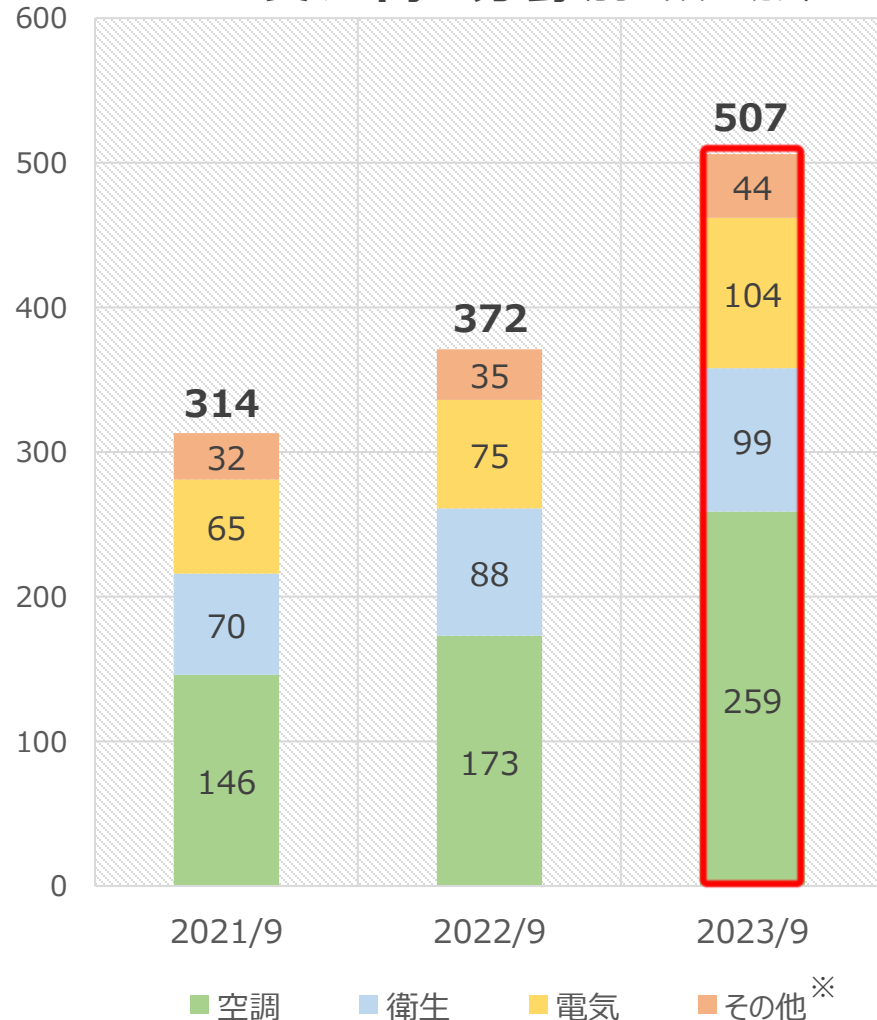
受注高 (1) 顧客別・分野別 (連結)

■ 民間の大型案件が大幅に拡大

受注高 顧客別 (単位：億円)



受注高 分野別 (単位：億円)



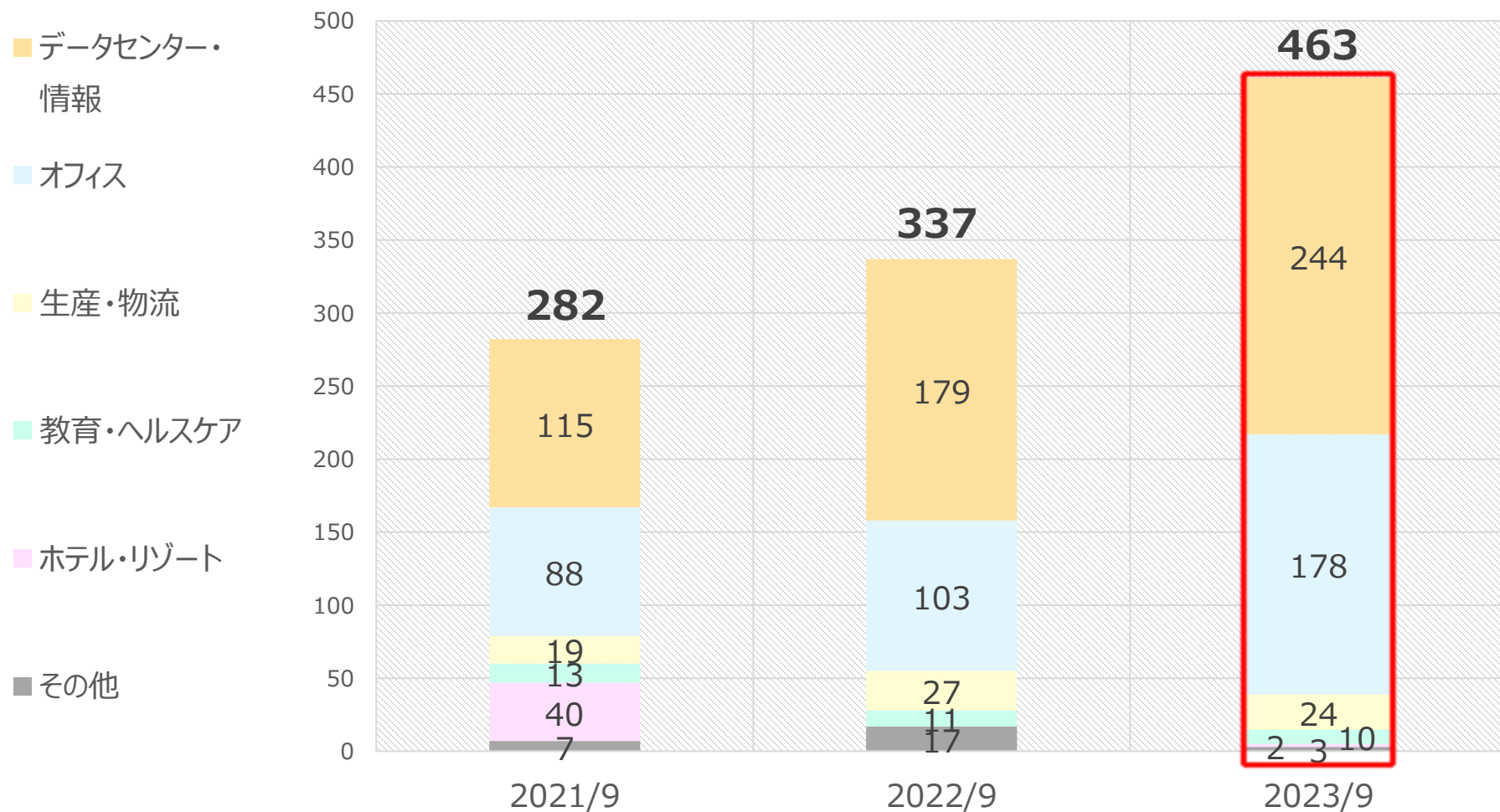
※連結子会社分

受注高 (2) 建物用途別 (単体)

■ データセンター・情報、オフィスが拡大

受注額 (単体) の推移

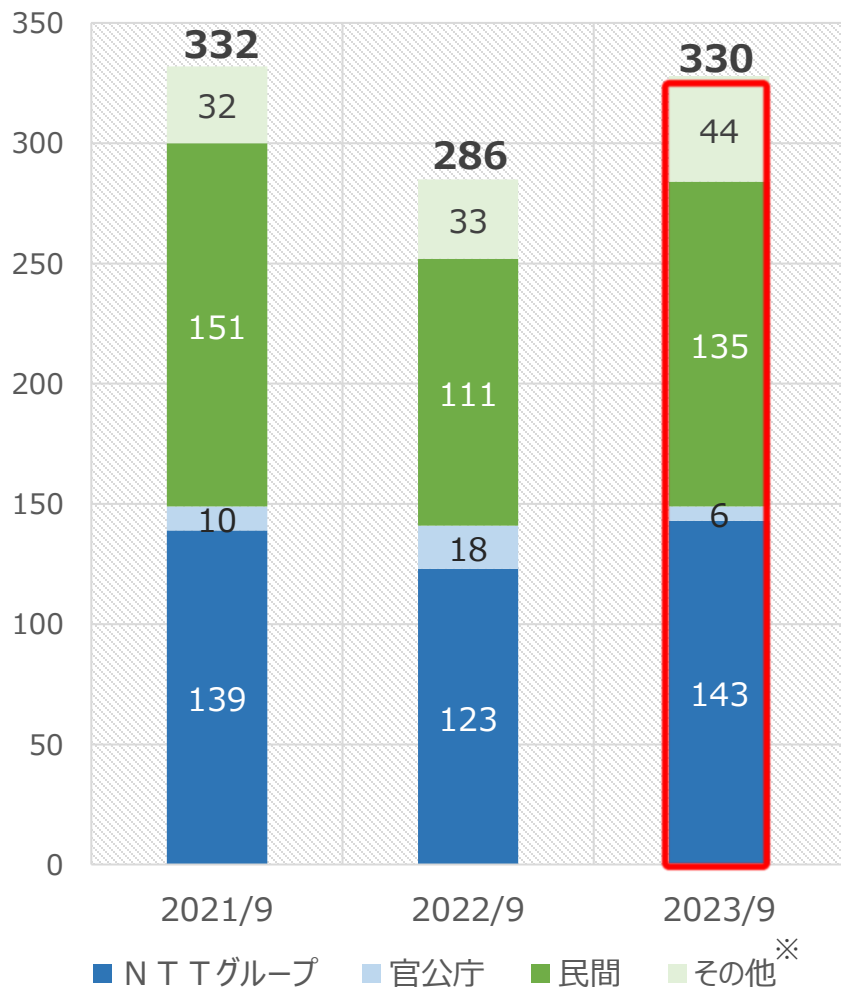
(単位: 億円)



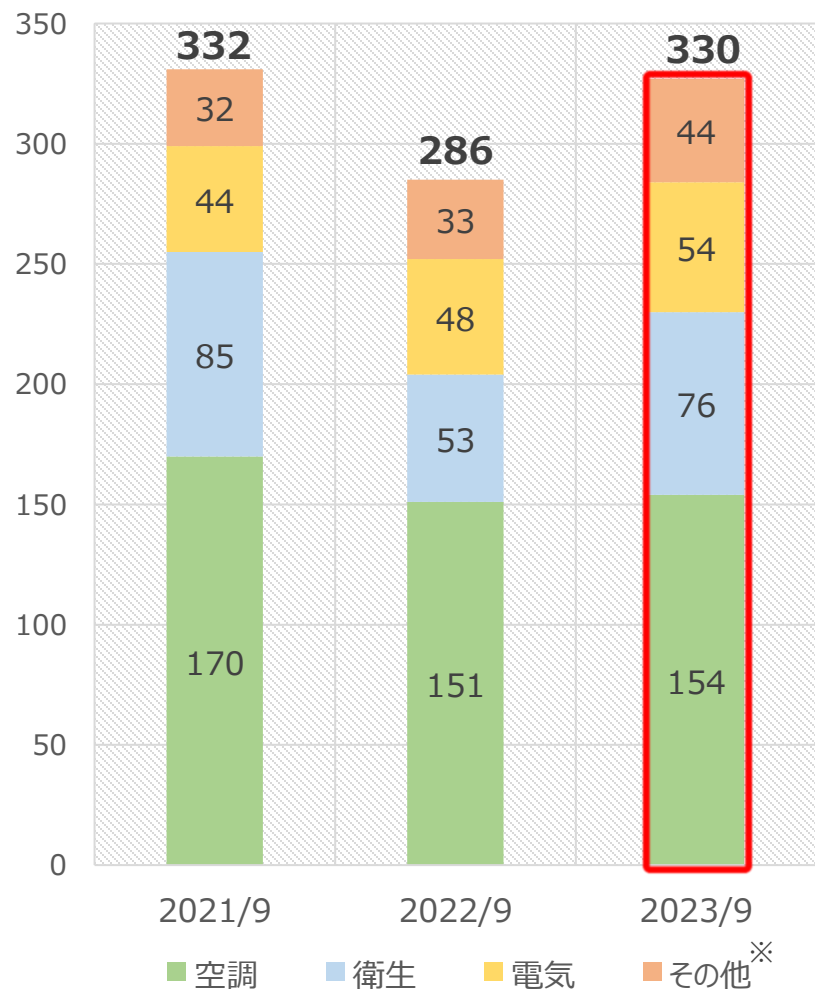
売上高 (1) 顧客別・分野別 (連結)

■NTTグループ・民間ともに好調に推移

売上高 顧客別 (単位：億円)



売上高 分野別 (単位：億円)

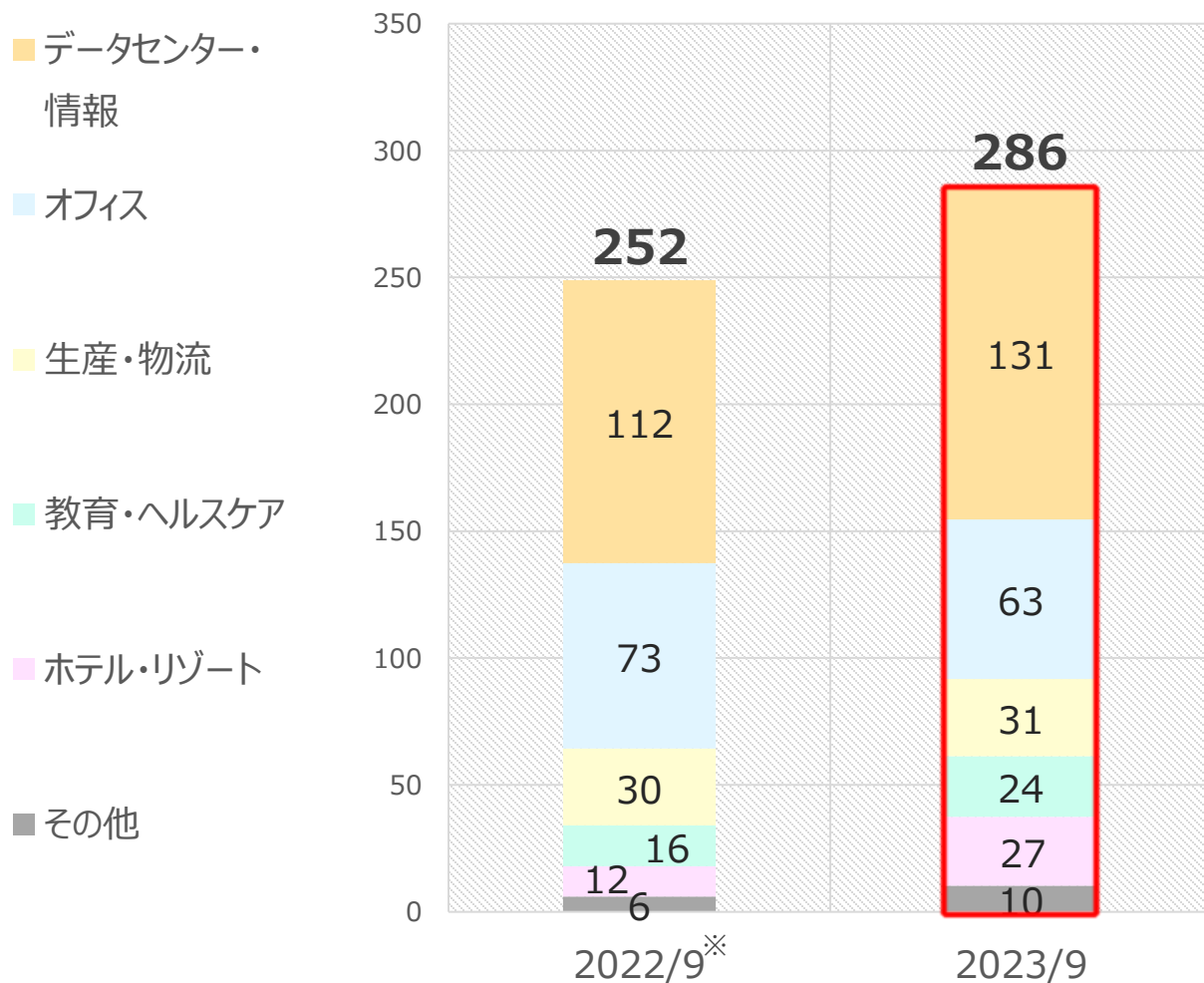


※連結子会社分

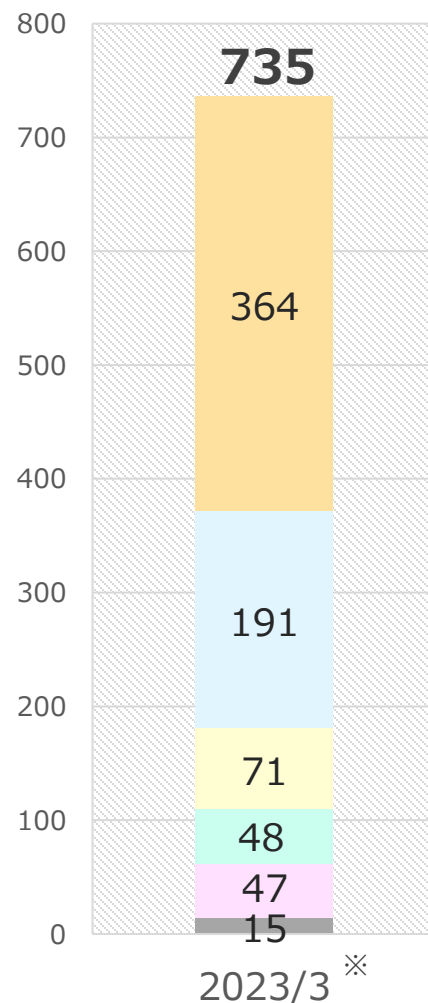
売上高 (2) 建物用途別 (単体)

■ オフィスは減少したが、その他の分野（データセンター・情報、生産・物流、教育・ヘルスケア、ホテル・リゾート等）がバランスよく拡大

売上額 (単体) の推移 (単位: 億円)



参考: 前年度通期売上額

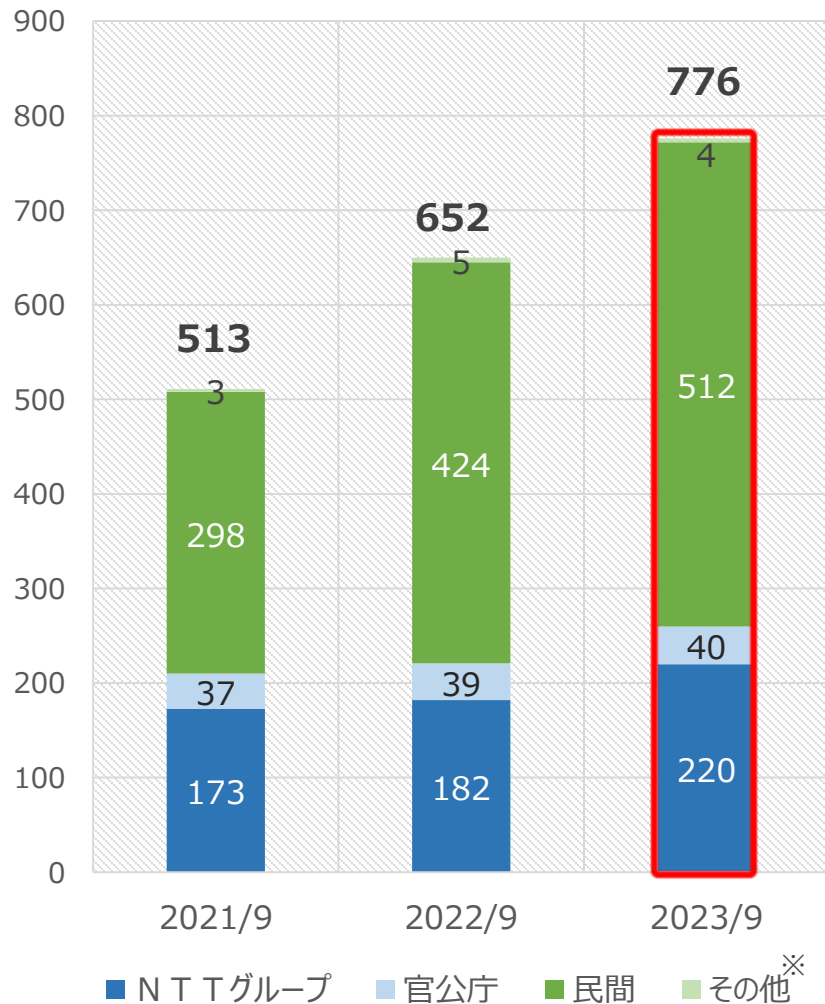


※2022年度の建物用途別売上高は推計値です。 6

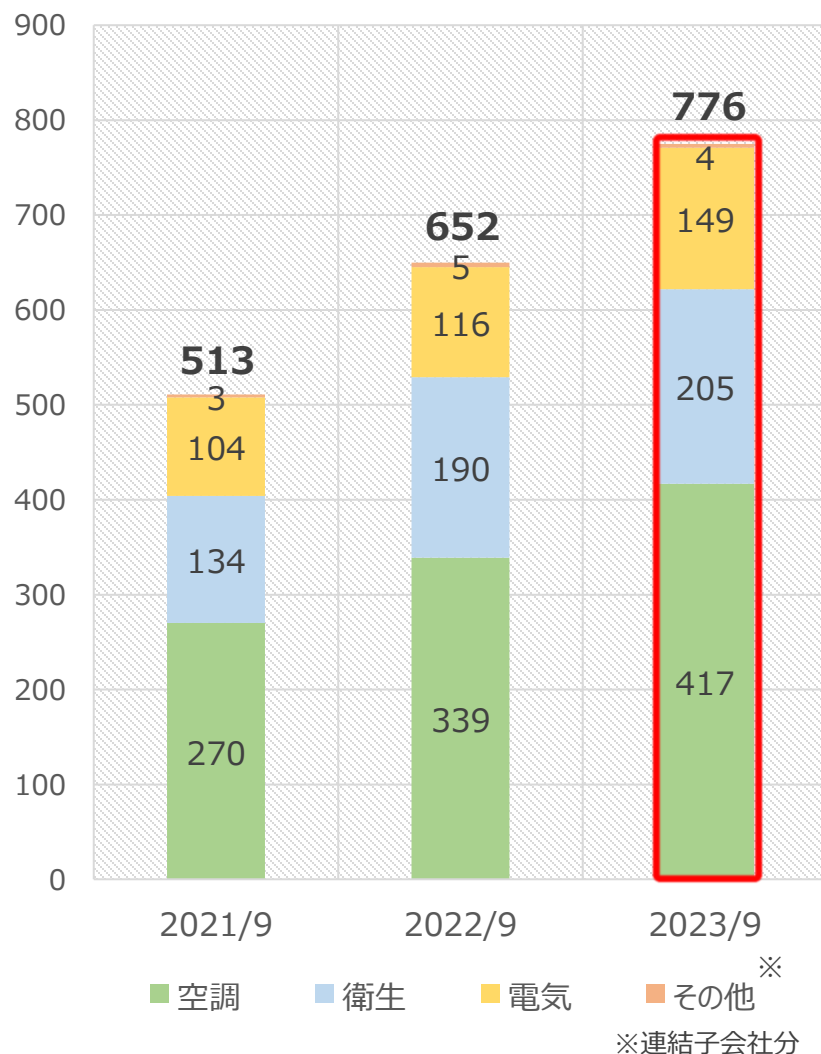
手持ち工事高 顧客別・分野別 (連結)

■ 民間工事の大型化に伴い、手持ち工事が拡大

手持ち工事 顧客別 (単位：億円)



手持ち工事 分野別 (単位：億円)

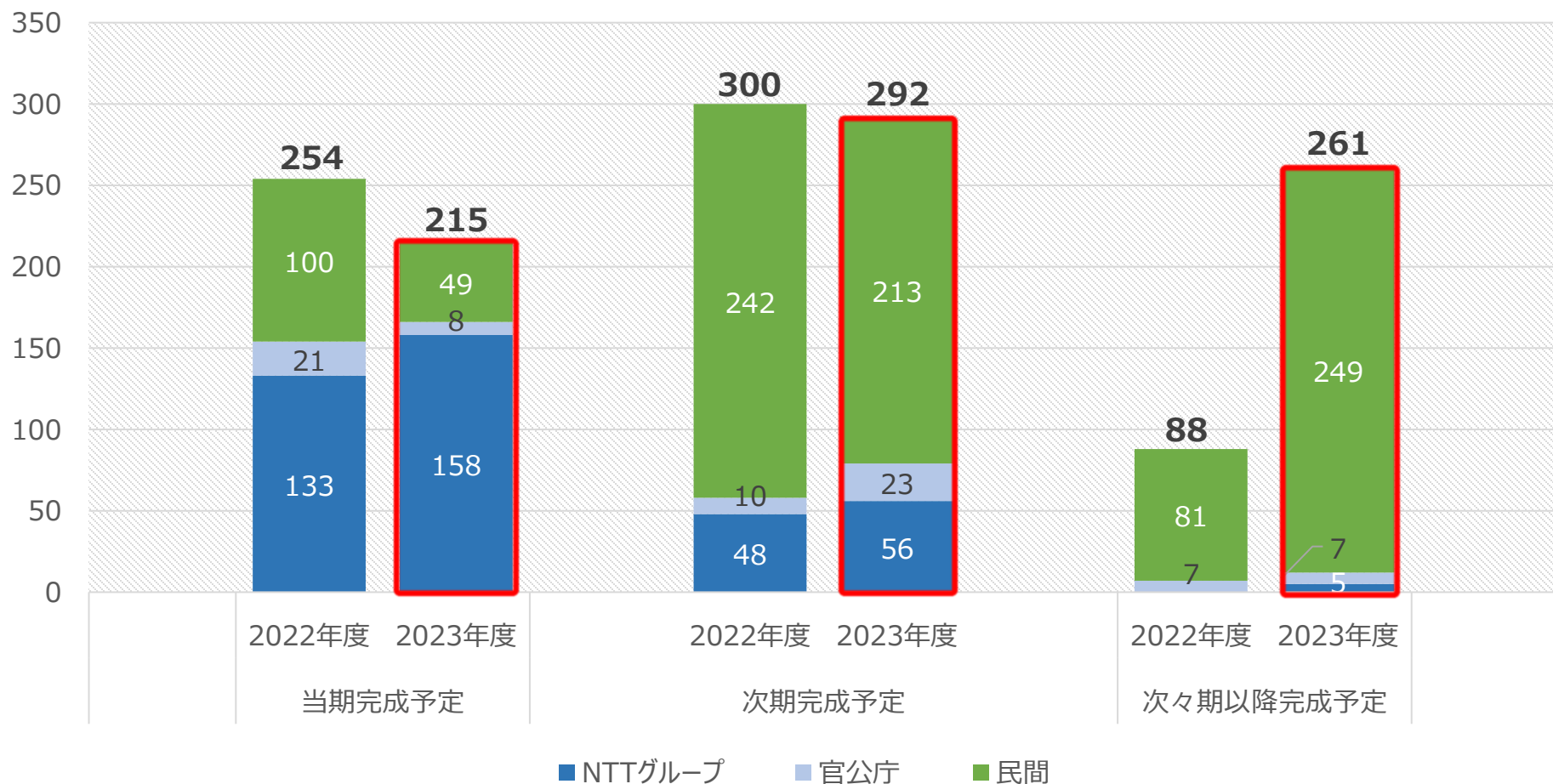


手持ち工事高（単体・完成期別予定）

■ 工期が長い民間大型案件の受注に伴い、次々期以降の完成予定案件が増加

手持ち工事高（単体・完成期別予定）

（単位：億円）



連結損益計算書

- 前期・前々期と比較して大型の好採算案件が少なかったが、14.9%の売上総利益率(粗利率)を確保
- 営業利益・経常利益・四半期純利益は、前年同期比で増益を確保

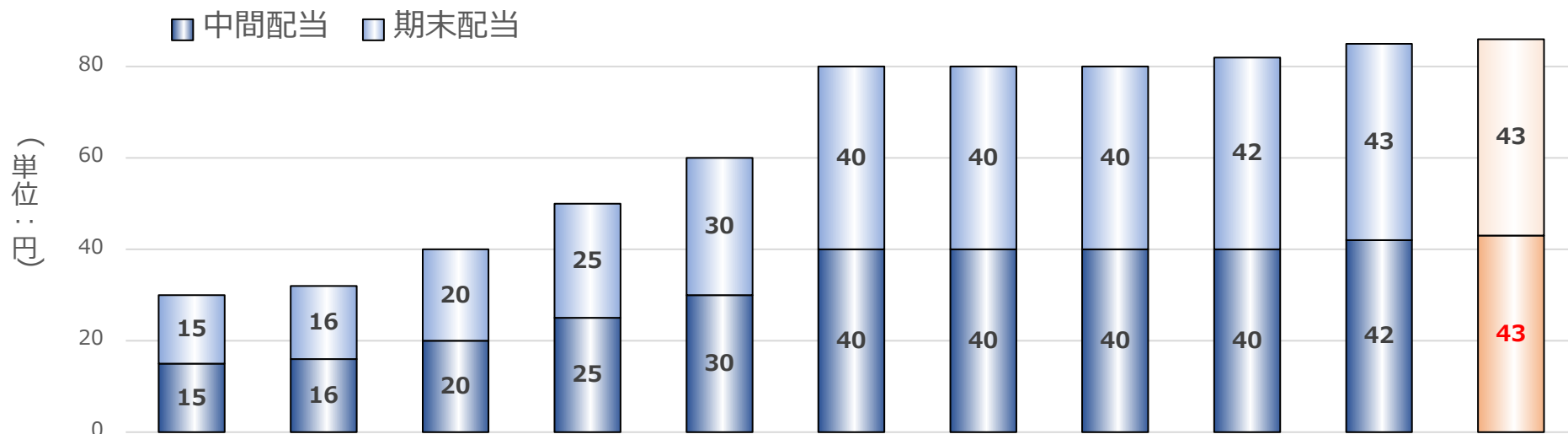
(単位：億円)

	2021/9 実績	2022/9 実績	2023/9 実績	前年同期比	前年同期比(%)
売上高	332	286	330	+43	15.4%
売上原価	260	239	280	+41	17.5%
売上総利益(粗利益)	72	47	49	+2	4.5%
売上総利益率(粗利率)	21.8%	16.4%	14.9%	—	▲1.5%
販管費	38	39	39	▲0	▲0.3%
営業利益	33	7	9	+2	29.6%
営業外収支	3	3	4	0	14.6%
経常利益	36	11	14	+2	24.4%
特別損益	2	—	0	0	—
法人税等	11	3	4	0	21.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	27	7	9	+2	26.7%

株主還元（1株当たり配当金推移）

■ 株式配当金

中間配当は前期より1円増配の43円とする予定(年間配当は86円を予想)
 (前期：中間42円・期末43円 → 今期：中間・期末ともに43円)



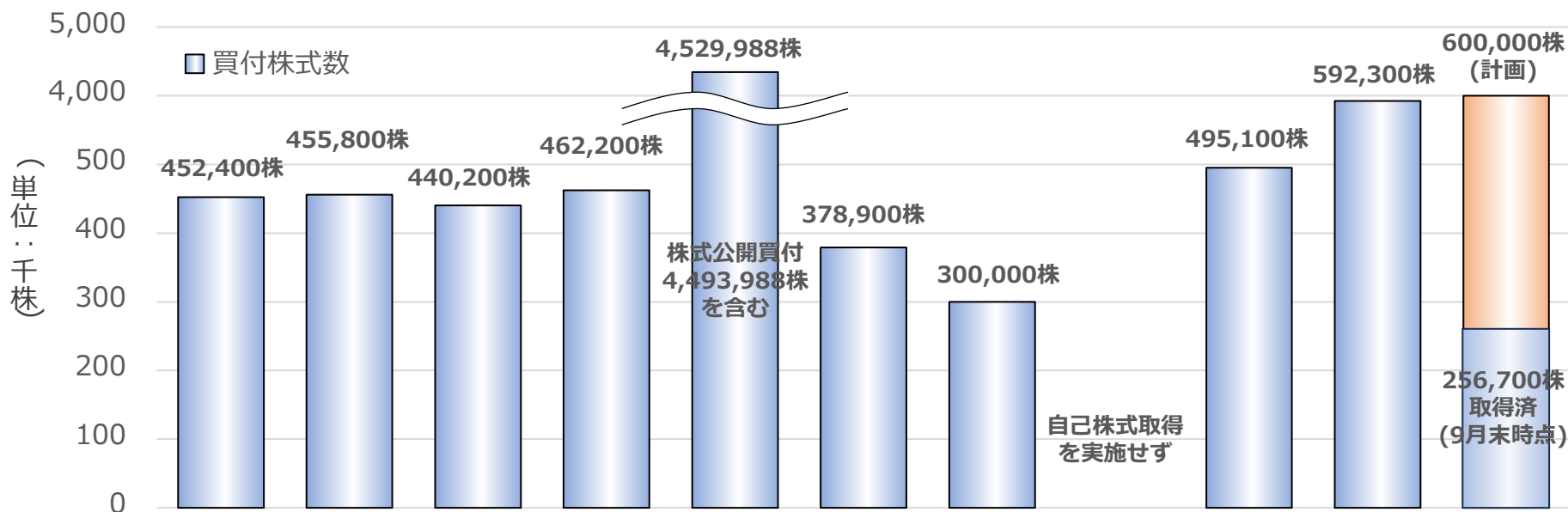
決算期	2014/3	2015/3	2016/3	2017/3	2018/3	2019/3	2020/3	2021/3	2022/3	2023/3	2024/3 (予想)
中間配当	15	16	20	25	30	40	40	40	40	42	43
期末配当	15	16	20	25	30	40	40	40	42	43	43
配当性向 (連結)	41.2%	36.5%	25.5%	28.0%	22.9%	71.9%	54.3%	62.1%	44.6%	42.4%	51.9%
	-	第5次中期経営計画期間 (平均) 30.0%			第6次中期経営計画期間 (平均) 49.7%			第7次中期経営計画期間 (平均) 49.7%			-
DOE	1.7%	1.7%	2.1%	2.5%	2.7%	3.3%	3.3%	3.2%	3.2%	3.1%	-

株主還元（自己株式取得状況の推移）

■ 自己株式取得

計画	600,000株	15億円（上限）
実績	256,700株	5.9億円
進捗	42.78%	39.97%

※2023年9月30日時点



決算期	2014/3	2015/3	2016/3	2017/3	2018/3	2019/3	2020/3	2021/3	2022/3	2023/3	2024/3 (予定)
買付金額 (億円)	4.9	7.2	7.0	7.5	110.9	7.0	5.6	—	9.4	11.3	15

第8次中期経営計画の取り組み状況

第8次中期経営計画 基本方針

コア事業を深める

- 当社のデータセンターへの取り組み
- データセンター市場の拡大
- 当社が対応可能なデータセンター技術

事業領域を拡げる

- ZEB技術の実績と展望

経営基盤を高める

ESG経営

- 働き方改革・コミュニケーションの活性化
- 環境とガバナンスへの取り組み

当社のデータセンターへの取り組み

NTTグループ設備工事で培ったノウハウ



建物
ライフサイクル



高品質

- 建物のライフサイクルに応じてサービスを提供
 - リニューアル工事においては、お客様の業務・通信機器を停止させることなく施工

- 通信局舎の施工で培った高品質な技術
 - レジリエンスで高機能な設備システムの構築

情報通信分野での豊富な実績と高い信頼性



データセンター受注拡大（新築・需要工程※）

データセンター市場の拡大

クラウド・AI等の進展に伴う大量データ通信処理の必要性

データセンターの高密度・ハイパースケール化※

- ・消費電力量の大幅増加
- ・床面積の大型化

従来型

ハイパースケール型

用途	・ネットワークサービス ・コロケーションサービス	・クラウドサービス ・ECサイト等	・生成AIなど 新たなビジネス領域 (ChatGPT等)
消費電力量 (ラック発熱量)	～5kW/ラック (低負荷)	～10kW/ラック (高負荷)	～80kW/ラック (超高負荷)
延床面積	約500㎡	約5,000㎡～	生成AIの規模によって 大きく変動する見込み

※ハイパースケールデータセンター：サーバー室面積5,000㎡以上かつ電力供給量が6kVA/ラック以上の物件

当社が対応可能なデータセンター技術

データセンターに関する技術

壁吹出し空調

…参考資料 p.24

室内壁面に設置された空調機の全面から室内に冷風を供給
(大容量の冷却が可能な空調方式)

外気冷房

…参考資料 p.25

冬期や中間期※などで冷涼な外気を活用しサーバ機器類を冷却
(省エネ性の高い空調方式)

※冷暖房なしでもある程度快適に過ごすことができる春季・秋季

ヒートロード テスト

…参考資料 p.26

実際の発熱を模擬して冷却が適切に行われるかを確認する試験
「設置した空調システムの機能検証」「サーバー室内やラック吸気面温度の適正化」「空調停止時におけるバックアップ機能検証」等

液浸冷却 システム

…参考資料 p.27

冷却液※が充填された液槽にサーバ機器類を直接浸して冷却
(次世代の冷却方式)

※油など非電導性の液体

ZEB技術の実績と展望



ZEB Ready取得
【上郡庁舎全景】



ZEB Ready取得
【宮城ダイハツ大河原店】



『ZEB』取得
【東亜建設技術研究センター第二実験棟】



『ZEB』取得
【倉沢建設新社屋】

2030

CO2排出量
△46%

2025

今後の展望

- ・ ZEBプランナーとしての確固たる地位を確立
- ・ 自治体ZEB案件への対応強化
- ・ 民間ZEB案件への対応強化

2023

2023年『ZEB』取得

設計施工 東亜建設技術研究センター第二実験棟
コンサル 倉沢建設株式会社新社屋

2020

2022年 ZEB Ready取得

コンサル 宮城ダイハツ販売会社大河原店

2021年 ZEB Ready取得

設計施工 上郡町役場

2018年 ZEBプランナー取得
ZEB29P-00083-PGC

◇可能性調査業務

- ・2022年 ZEB Ready 小布施町役場庁舎レジリエンス型ZEB化に向けた事業化計画策定業務
- ・2023年 ZEB Ready コンサル 西宮市既存公共建築物ZEB可能性調査業務(3施設)
- ・ZEB Ready見込 コンサル某市考古博物館
- ・その他店舗ZEB化検討業務多数

7次中計

8次中計

9次中計

10次中計

働き方改革・コミュニケーションの活性化

女性活躍推進

女性キャリアデザインプロジェクトの活動

- ・ 女性管理職座談会（2023年5月）
- ・ 小規模支店 女性活躍推進会議（2023年9月）
- ・ 設備女子会※ セミナー・視察研修（2023年10月）

※(社)建築設備技術者協会 主催



えるぼし認定(二つ星)
2019年5月 取得済



オフィスリニューアル

多様な働き方、業務効率化、生産性向上、
エンゲージメント向上を図る

【実施状況】

中期経営計画	店所名	状況
第8次	東京本店	実施中
	九州支店	2023年9月完了
第7次	富山営業所	2022年3月完了
	沖縄支店	2022年3月完了
	関西支店	2021年6月完了

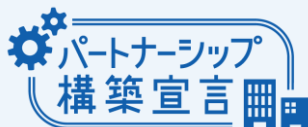
協力会社とのコミュニケーション

品質・安全意識の共有

- ・ 協力会ポータルサイト
- ・ 意見交換会
- ・ 安全大会
- ・ 安全研修
- ・ マイスター制度



「パートナーシップ構築宣言」
(2023年9月公開)



【今年9月にリニューアルが完了した九州支店】



コミュニケーションエリア



Web会議ブース

環境とガバナンスへの取り組み

■ 脱炭素経営を見据えた取り組み

温室効果ガス排出量の算定対象を拡大(2023年3月期以降)

- Scope1およびScope2の算定の幅を拡大
協力会社社員の通勤で発生するガソリン使用量、
現場事務所の電気使用量等を追加
- 新たにScope3を算定・開示

名称	温室効果ガス排出量 算定対象
Scope1	事業者自らによる温室効果ガスの直接排出
Scope2	他社から供給された電気、熱、蒸気の使用に伴う間接排出
Scope3	Scope1、Scope2以外の間接排出 (事業者の活動に関連する他社の排出)

■ リスクマネジメントの強化

- リスクマネジメント委員会を設置(2023年4月)
- 健全なリスクテイクによる成長とリスクマネジメントのバランスを図る

【リスクマップ】

- ・ 当社グループにおけるリスクの洗い出し
- ・ 各リスクの主管部門を設定

戦略リスク

オペレーショナルリスク

コンプライアンスリスク

経理・財務リスク

【リスクマネジメント委員会】(年1回以上開催)

- ・ リスクの洗い直し・重要性評価
- ・ リスク対処策の見直し

2024年3月期 上半期の主な竣工物件

2024年3月期 上半期の主な竣工物件

用途	物件名
データセンター・情報	<ul style="list-style-type: none">・データセンターA（千葉県）・データセンターB（東京都）・データセンターC（東京都）
オフィス	<ul style="list-style-type: none">・住友不動産 勝どきビル/改修
生産・物流施設	<ul style="list-style-type: none">・三井リンクラボ新木場2・GLP ALFALINK 相模原Ⅱ
教育・ヘルスケア	<ul style="list-style-type: none">・南山大学A棟/改修
ホテル・リゾート	<ul style="list-style-type: none">・メルキュール羽田

三井リンクラボ新木場2

【生産・物流施設】



所在地 東京都江東区

延床面積 18,204㎡

規模 地上4階・塔屋1階

当社施工 空調・衛生

2024年3月期 上半期の主な竣工物件

GLP ALFALINK 相模原Ⅱ

【生産・物流施設】



メルキュール羽田

【ホテル・リゾート】



所在地 神奈川県相模原市

延床面積 90,470㎡

規模 地上6階

当社施工 空調・衛生

所在地 東京都大田区

延床面積 13,814㎡

規模 地上11階

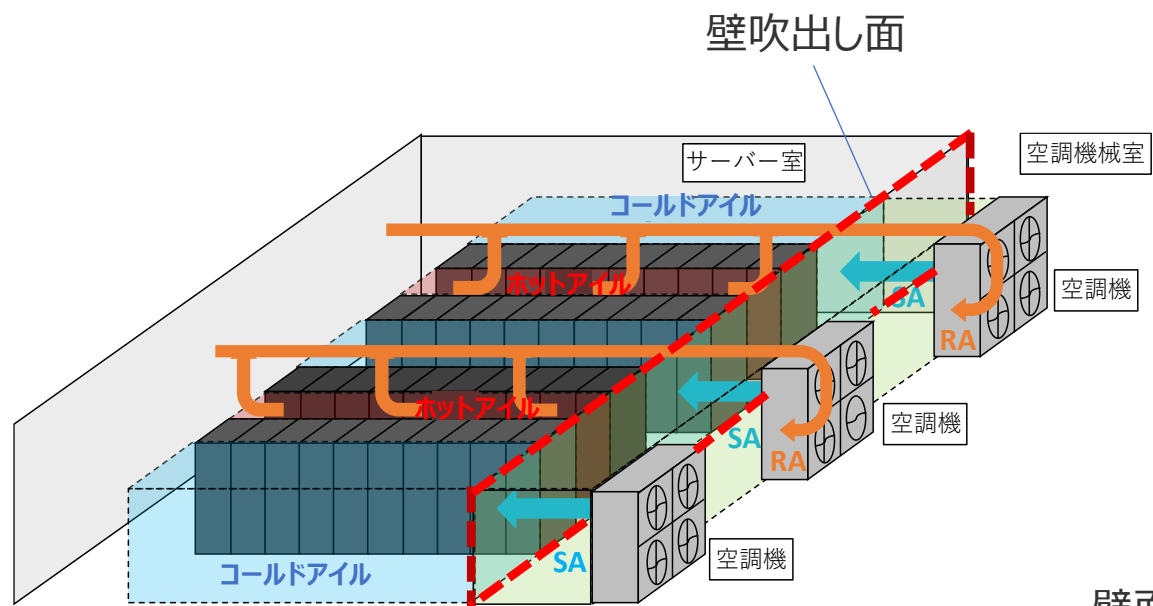
当社施工 空調・衛生

參考資料

壁吹出し空調方式

■ 過大な発熱に対し室内壁全面の開口からコールドアイル※へ吹出す空調方式

- ・ サーバー発熱の増加に伴い、要求される空調空気も大幅に増加
- ・ 大風量を風速を制限しながら、サーバーへ供給する空調方式



壁面全面から空調空気をサーバーへ供給

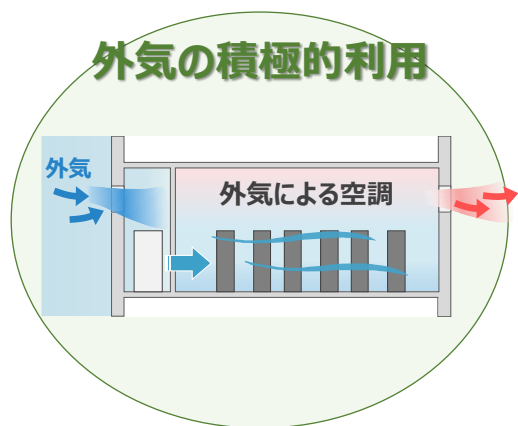
外気冷房

■ 取り込んだ外気によりサーバー機器類を冷却する空調方式

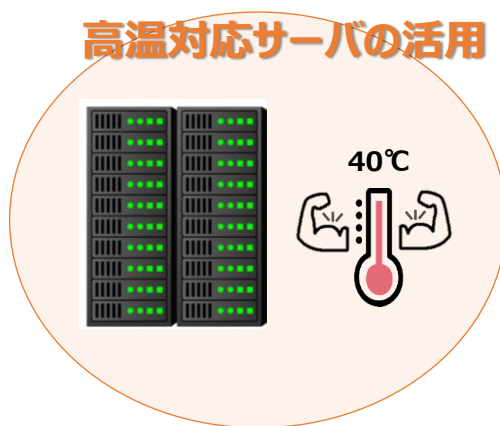
電気をたくさん使う熱源機の運転は…**必要最小限に!**



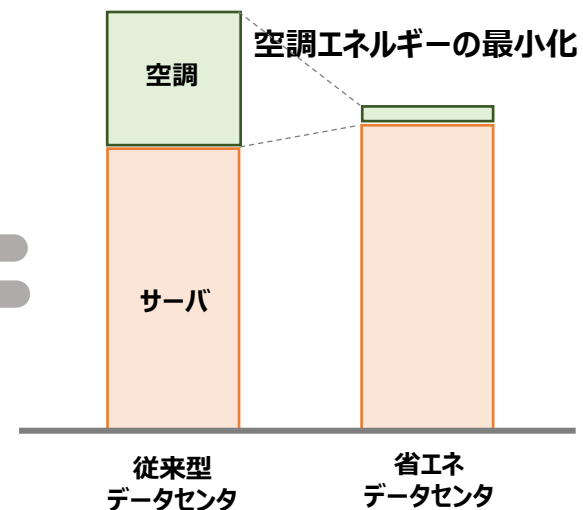
空調エネルギーを限りなく使わない
環境にやさしいデータセンターの実現



+



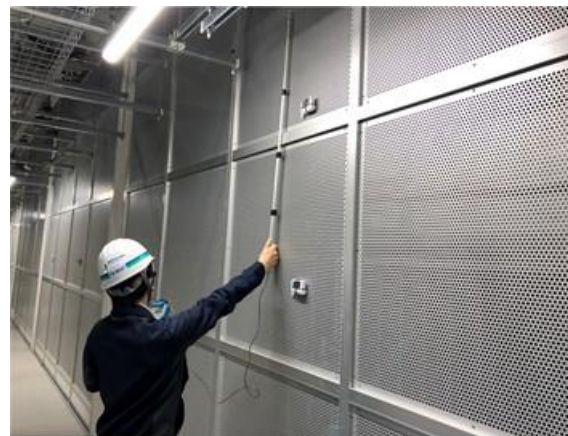
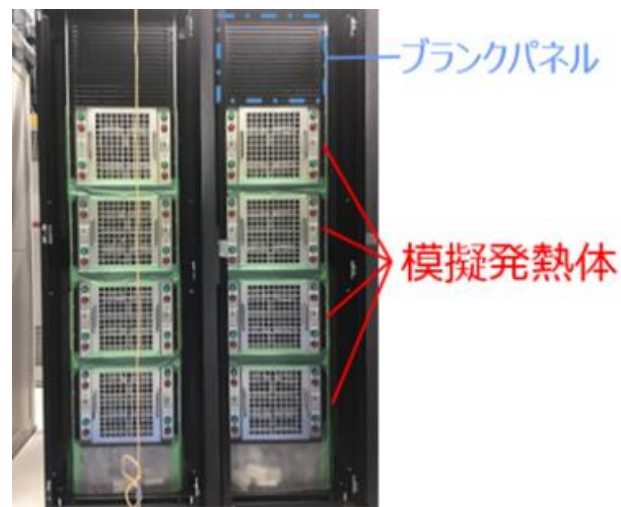
=



サーバーの冷却に適した外気は… **積極的かつ最大限活用!**

ヒートロードテスト

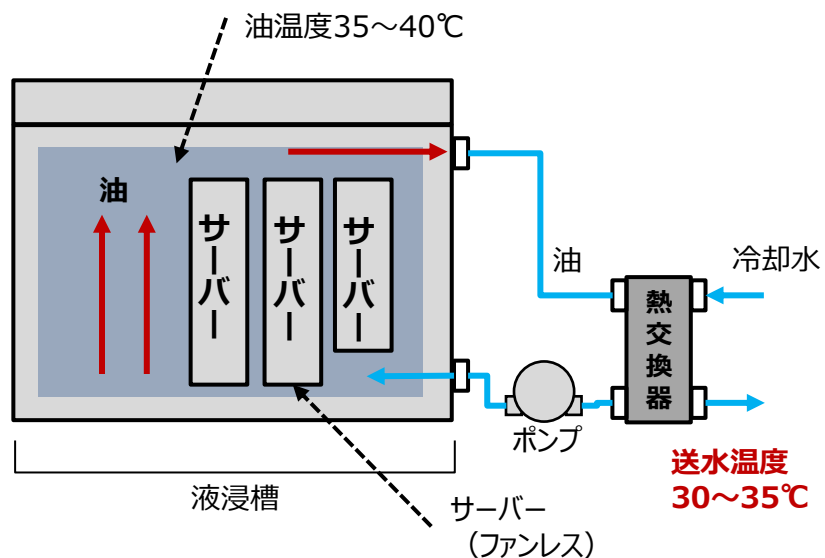
- 実際のサーバー発熱を模擬して冷却が適切に行われるかを確認する試験



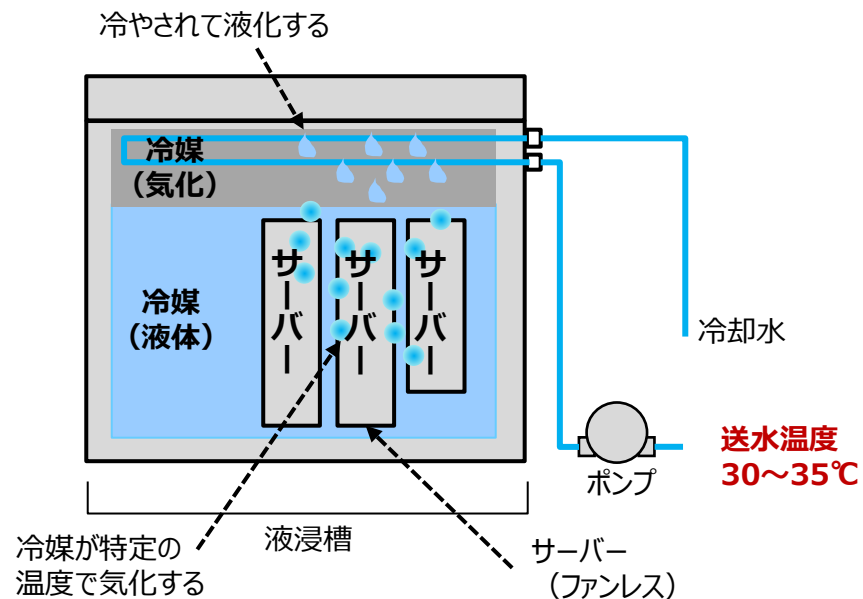
液浸冷却システム

- 冷却液が充填された液槽にサーバーを直接浸す冷却システム
次世代の冷却方式としてシステム検証中

液浸冷却システム（1相式）



液浸冷却システム（2相式）



脱炭素・省エネ事業への取り組み

アライアンスを活用した脱炭素・省エネ事業

事業グループ

コンサルタント会社等

アライアンス

当社

役割：既存設備の省エネ・CO₂化に向けた調査・導入と維持管理
地元活性化のため地元企業を活用

実績（例）

長野県県有施設

バルクリースを活用した
照明LED化による省CO₂事業

兵庫県赤穂郡上郡町 庁舎

全熱交換器への改修や
照明LED化によるZEB Ready[※]案件



※ZEB Ready・・・エネルギー消費量を50%以上削減した建築物

過去の実績を活用

長野県自治体公共施設

照明LED化に向けた調査事業

長野県自治体庁舎

ZEB化に向けた調査事業

三重県自治体博物館

レジリエンス強化型ZEB実証事業

現場フォロー体制の強化

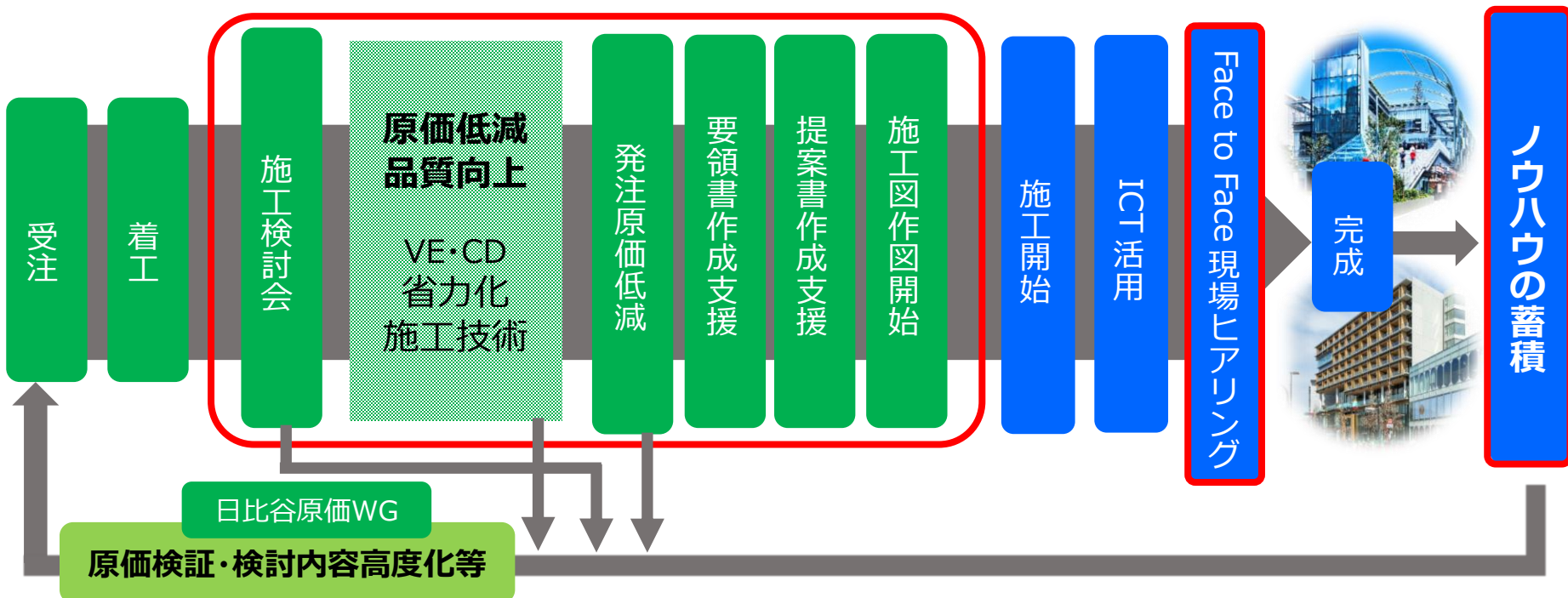
ONE TEAM活動/Face to Face活動

ONE TEAM活動

初期段階から施工部門をサポートするチームを組織横断的に組み、原価低減・品質向上等を図る

Face to Face活動

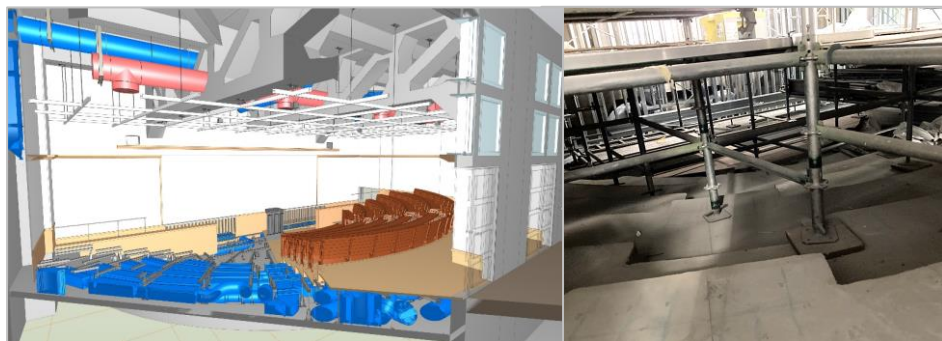
現場を熟知した施工責任者等が現場訪問することで、コミュニケーション強化を図り、手戻りやリスクを軽減



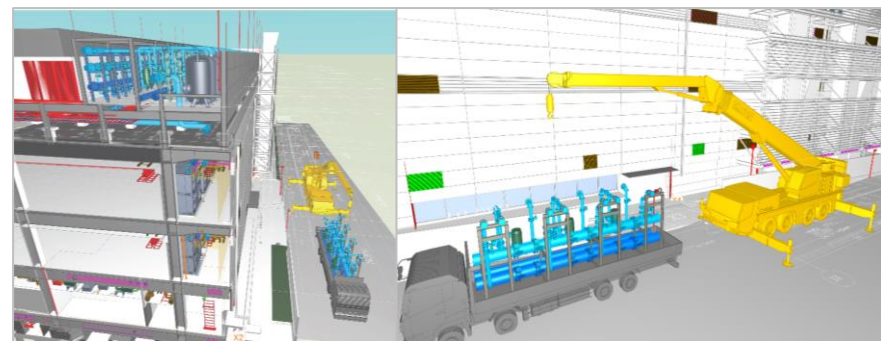
BIM活用事例について

現場におけるBIM活用による施工効率化

- 配管・ダクトを施工する上で、鉄骨・ラック等の障害物が多い中、3Dを活用した検討を行い、手戻りゼロの施工を実現
- 機器配置等を3Dでプレゼンすることにより、設計者や発注者とのスムーズな合意形成を達成し、お客様より高評価
- BIMを活用したユニット化検討・施工計画等のフロントローディングへの取り組み



▶ 建築(お客様)と設備が一体となったBIM活用



▶ BIMモデルによる搬入シミュレーション

BIMソフト (Rebro/Revit) の特徴と将来に向けた取り組み

Rebro (NYKシステムズ : 日本)

- 現場におけるお客様のニーズに対応し、現場施工段階で利活用
- 施工図等の3D作図の操作性に優れ、使い勝手が良い
- 設備CADからの切替で、3D作図ソフトとして今後も利用が見込まれる

Revit (オートデスク社 : 米国)

- 現在は、建築設計段階における利活用が主
- 設計自動化ツール、自動計算、シミュレーション等の連携機能・拡張性に優れる
- 将来性が見込まれ、標準化が進むと設備業界での利活用が広がる可能性がある

- 将来に向けた戦略的ツールと位置づけ、人財育成やツール整備の取り組みを強化
- データベース連携によりBIM情報を最大限活用し、業務効率の拡大を図る

ご清聴ありがとうございました。

【ご注意】

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は将来の業績を保証するものではなくリスクと不確実性を内包するものであります。将来の業績は、経営環境の変化等に伴い、本資料の予想数値とは異なる可能性があります。

決算説明会
日比谷総合設備株式会社
2023年11月20日